

# 請願審査資料

○7年 請願 第5号

災害避難所の充実について

令和8年5月 15 日

市 民 局

## 1 請願事項

- (1)能登半島地震の例などを踏まえ、地震災害の際の避難者想定数を早急かつ抜本的に見直すこと。
- (2)月隈収蔵庫から各避難所に運搬するという考え方を改め、食料、水、簡易トイレ、簡易ベッド、パーティション、屋内用テントなど各避難所への備蓄を抜本的に拡充すること。

## 2 請願に対する現状と福岡市の考え方

### (1)地震災害の際の避難者想定数の見直しに関する請願事項

#### 現状

・福岡市における地震の想定避難者数については、福岡県が実施した「地震に関する防災アセスメント調査(平成24年3月)」の結果に基づき、25,072人として、福岡市地域防災計画に定めている。

#### 請願に対する福岡市の考え方

・福岡県が令和7年10月に公表した新たな「地震に関する防災アセスメント調査(令和7年9月)」の結果では、福岡市における想定避難者数は最大約232,000人とされており、これを踏まえ、地域防災計画に定める想定避難者数を見直すこととしている。

#### ■「地震に関する防災アセスメント調査」における福岡市の想定最大避難者数

	平成24年3月	令和7年9月
避難者数	25,072人	約232,000人
うち避難所への避難	25,072人	約139,000人
うち在宅・車中泊避難等	-	約93,000人

## (2)備蓄の抜本的な拡充に関する請願事項

### 現状

- ・福岡市の備蓄については、月隈収蔵庫のほか、各避難所に分散備蓄している。
- ・このうち、各避難所には、パーティションやテントの全て、食料や水の約3割、簡易トイレ2台ずつを含む約1割を分散備蓄しており、簡易ベッドや残りの食料、水などについては、月隈収蔵庫に備蓄している。

### 請願に対する福岡市の考え方

- ・現在、新たな地震被害想定を踏まえ、全庁的にハード・ソフトの両面から防災対策の検証・検討を進めているところであり、その中で、分散備蓄や物資輸送を含め、公的備蓄のあり方についても検討し、必要な対策を進めることとしている。
- ・大規模災害時において、発災当日に国等からの支援物資が届かないことを想定し、応急対策として、発災当日に必要となる食料等の確保に取り組むとともに、各避難所への分散備蓄の拡充も進めていく。

### ■主要な備蓄品の数量

	令和7年度末		令和8年度末(予定)	
	総数	うち避難所	総数	うち避難所
食料（食）	318,720	126,720	584,400	202,944
水（本）	286,560	64,800	584,400	102,912
簡易トイレ・携帯トイレ（回分）	491,000	40,000	1,316,700	116,000
簡易ベッド（台）	3,850	0	7,350	5,310
パーティション・テント（台）	5,310	5,310	7,240	5,310